

栄光のバックホーム

製作総指揮：見城徹(幻冬舎フィルム)

原作：「奇跡のバックホーム」横田慎太郎（幻冬舎文庫）

「栄光のバックホーム」中井由梨子(幻冬舎)

脚本：中井由梨子「20歳のソウル」

監督：秋山純

プロデュース：秋山純 三田真奈美

製作：「栄光のバックホーム」製作委員会

制作：幻冬舎フィルム、JACO

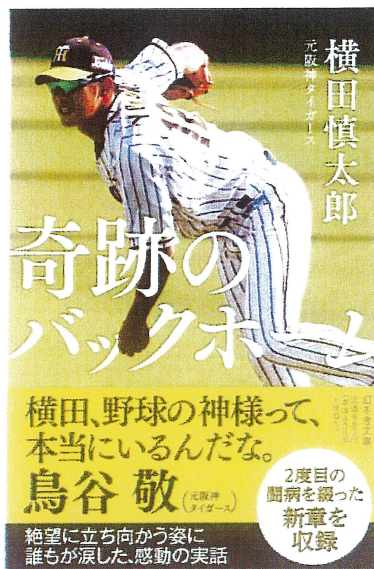
配給：ギャガ

出演：

横田慎太郎役：松谷鷹也

横田まなみ（慎太郎の母）：鈴木京香

11月28日、全国公開予定



阪神タイガース 18年ぶりの優勝の年、28歳で生涯を終えた元選手がいた。

その名は横田慎太郎。

阪神タイガースの若きスラッガーとして将来を期待される最中、21歳の若さで突然宣告されたのは、脳腫瘍。

18時間に及ぶ大手術、過酷な闘病生活でも「再び必ず野球をする」その夢を抱き、闘い続けた彼のそばには、二人三脚で支え続けた母・横田まなみと、家族の姿があった――。

厳しいリハビリを経て、復帰するものの目の後遺症により引退を決意。

2019年。

惜しまれながら、多くの野球ファンに見守られ、人生最後の試合で起こした、自身さえ信じがたい「奇跡」とは。

野球を愛し、野球に人生を賭け、28年間という太く短い生涯を全力疾走で駆け抜けた一人の男の壮絶な人生。

プロ野球ファンに語り継がれる“奇跡のラストプレー”の裏側に隠された感動の実話。

横田慎太郎役で主演に抜擢されたのは新人俳優の松谷鷹也。父親は元巨人ドラフト二位の松谷竜二郎投手。自身も学法福島（福島）で投手として活躍した経歴を持つ。95 年生まれの横田慎太郎に対し、松谷は 94 年生まれ、左投げ、左打ち、身長もほぼ同じで、更には両者とも父親がプロ野球選手と、運命的ともいえる共通点を持ち「奇跡のバックホームは松谷なしには成立しない」と主演抜擢に至った。

松谷は 21 年に故横田慎太郎と故郷の鹿児島で初対面。「これで練習してください」と現役時代に使用していたクラブを託され、その後亡くなるまで交流を持ち続けた。

役作りに至っては、現役時代の横田を演じるためトレーニングに励み 20 キロ増量、90 キロの肉体改造を成功させた。その類まれなる身体能力を以て、今作での野球シーンはすべて CG を使うことなく俳優の実際のプレーを撮影。“奇跡のバックホーム”のシーンも倉敷マスカットスタジアムで“奇跡の再現”を収めることに成功した。

そして W 主演のひとり横田慎太郎の母、横田まなみ役を演じたのは鈴木京香。鈴木自身が闘病で休業していた最中に偶然テレビ番組で横田慎太郎の訃報に触れ、引退試合で見せたバックホーム映像にくぎ付けになり、心が震えるほどの衝撃を受けという。そして俳優業復帰を果たした直後に本作の出演依頼を受け「あの時の彼だ！」と運命的な引き合わせを感じ出演に至った。